

高校進路指導者懇談会

日時：7月22日（金）14時30分～16時30分

場所：アンピールホテル大阪

出席者：高校より進路指導に携わっている先生27名

協議会よりYouTube等広報担当チーム7名、役員3名

内容：看護学校より「看護への道」説明

意見交換

ここ数年コロナ禍等で進学説明会を開催することが出来ず、学生を送る高校側、学生を受け入れる専門学校側の双方がお互いの立場で疑問を抱えていた。

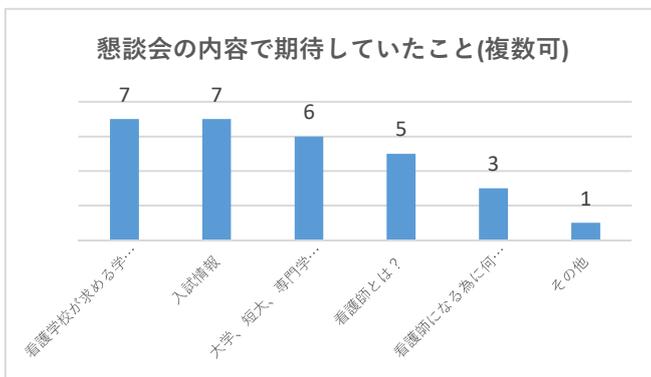
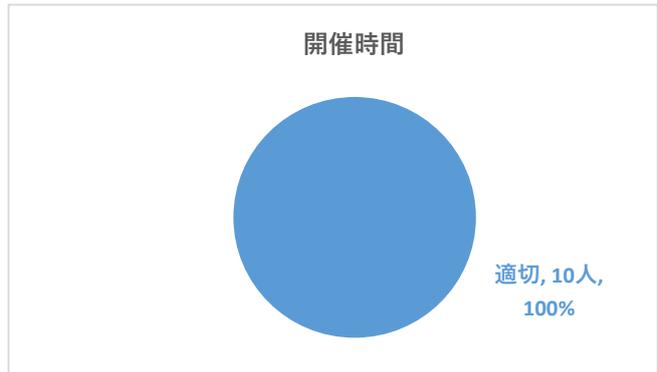
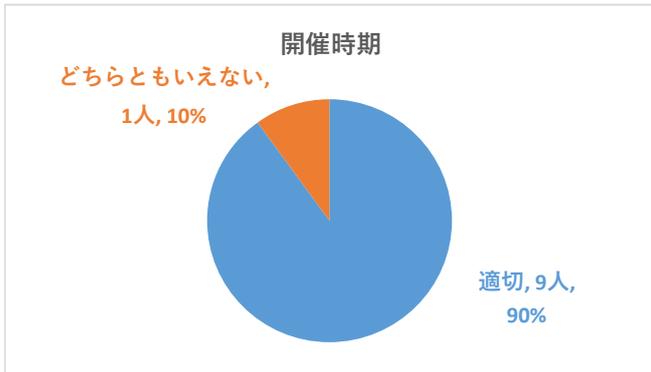
この度、近畿高等学校進路指導連絡協議会の協力を得て、懇談会を催すことができた。

高校からは、大学と専門学校の違いや入学試験や定員の充足率等について質問があり、協議会からは学校を選ぶ基準などについて質問を行った。

令和7年入学生から評定が3観点評価でされることなど新たな知見を得ることもでき、実り多い会であった。今後の協議会活動に生かしていきたい。

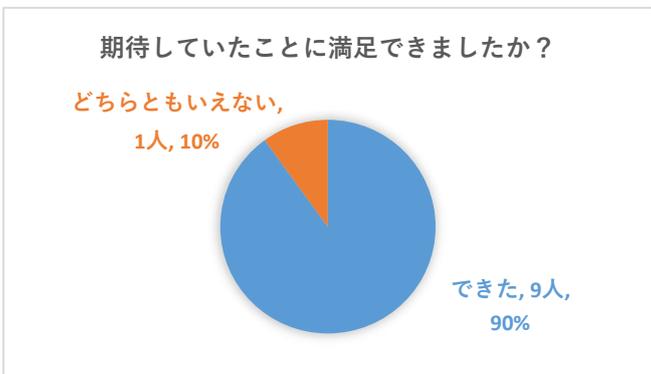
懇談会アンケート (7.22)

参加人数：28人 アンケート回答：10人



<その他>

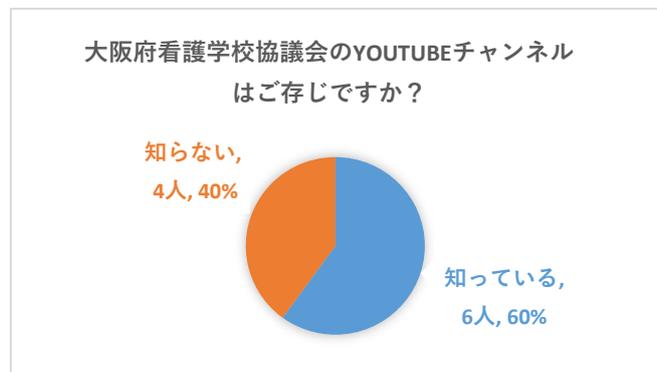
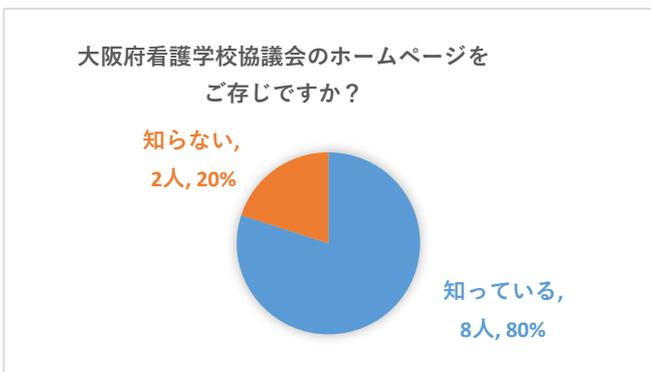
現在の看護師(コロナの現場含む)に求められている資質



<「どちらともいえない」「できなかった」と答えられた方>

もっとたくさんの学校に参加していただきたいかった。

開催時期は6月が望ましいです。



事由項目

- ・次回も開催していただきたいです。
- ・引き続きお願い致します
- ・大変有意義でした。ありがとうございます。
- ・学習指導要領の改訂や、大学入学者選抜実施要項が大きく変化する際にはぜひともお話ししたいと思います。
また、こまめにお会いしてお話できる機会を持てればなあ、と思います。
- ・後半の意見交流では、高校側が多くおり、互いに牽制して意見が出にくい状況だったのが勿体無いと感じました。
このため、例えば高校をグループに分け、グループ内で質問を整理したあと、看護学校側に質問するなどすれば、
効率的なのではないかと感じました。ただグループにする場合、定時制や偏差値の違いによって悩みが全く異なります。
先に質問を募集しておいたり、グループの趣旨を説明して自らグループに分かれてもらったりする工夫も必要かもしれません。
- ・必要とされる人物像に合った生徒を採用していただきたいと強く思いました。
- ・大変なご時制の中開催してくださりありがとうございました。